

根源的な意味 ～ 多面的な識見の修練 ～

2023 年 5 月 13 日『早稲田大学エクステンションセンター中野校』での講座【『ジャンル 人間の探求『がんと生きる哲学 ～ 医師との対話を通して『がん』と生きる方法を考える～』】に赴いた。真摯な多数の質問もあり大変『有意義な充実した講座』の時間であった。大いに感動した。

講義概要は【『がん哲学』とは、生きることの根源的な意味を考えようとする患者と、がんの発生と成長に哲学的な意味を見出そうとする医師との対話から生まれました。病理学者として、科学としての癌学には哲学的な考え方を取り入れていく領域があるとの立場に立ち『がん哲学』を提唱しています。日本人の半分ががんになる時代、好むと好まざるとにかかわらず、多くの方ががんと一緒に生きる方法を見つけなければなりません。授業では教科書の読みあわせと解説をしつつ、受講者とのディスカッションを中心に講義をすすめます。がんとともに生きている患者さん、がん患者の家族や身近に患者がいる人、医療従事者等のがん患者に寄りそいたいと思うかたすべてが対象です。】と謳われている。テキストは『がん細胞から学んだ生き方「ほっとけ 気にするな」のがん哲学』（へるす出版）を使用されている。『音読の大切さ』を実感する日々である。

受講者の方と昼食の時を持った。『樋野動物園』（2019 年 10 月 13 日開設）冊子の第 2 号の発行で、大いに話が盛り上がった。現在入所は 150 匹（人）を超えているとのことである。驚きである。筆者は、『樋野動物園園長』を仰せつかっている。【上野動物園と東山動物園には、それぞれ何種類の動物がいるのか？ 地球上には何種類の動物がいるのか？】が宿題となった。正解が楽しみである。

『「冗談を実現する胆力」～ sense of humor ～』&『ニューモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観ある人物』&『無邪気に、喜んで、小さなことに、大きな愛を込める』の修練の場でもある。まさに『個性を引き出す種を蒔く人の実例と実行』が『樋野動物園の存在意義・理念』ではなかろうか！『樋野動物園のテーマソング』制作も急浮上しているようである。『多角的な性格から 現れ出づる多面的な観察と識見』（新渡戸稲造：1862-1933）の学びの時でもあろう。